

2025年10月研修報告書

○氏名:勝原 由香子 ○国籍:日本
○所属:国際協力官 ○研修部署課:国際協力官・広報人室

結果報告

○主要日程

- 10月3日(金)～9日(木) 秋夕休暇
- 10月12日(日) 日韓交流おまつり
- 10月13日(月) 広報人室(オンライン疎通チーム)派遣開始
- 10月14日(火) 日韓共同セミナー(クレアソウル事務所、韓国地方行政研究院(KRILA)の共催)
- 10月16日(木) 大韓民国 SNS 大賞授賞式(ソウル)
- 10月17日(金) 春川アニトイフェスティバル・春川マックスタッカルビフェスティバル
- 10月22日(水) 横城韓牛フェスティバル
- 10月24日(金) 原州マンドゥフェスティバル
- 10月26日(日) 春川マラソン
- 10月28日(火) パークゴルフ体験
- 10月29日(水) 洪川銀杏の森訪問
- 10月31日(金) 江陵コーヒーフェスティバル

○広報人室派遣

10月13日より、広報人室(オンライン疎通チーム)への4週間の派遣が始まりました。広報人室は県の広報課にあたる部署で、なかでもオンライン疎通チームは、YouTubeをはじめとする各種SNSを活用し、江原道の観光資源や地域の魅力を発信しています。各地で開催される祭りや観光名所を訪問し、その様子をInstagramに掲載することで、広報活動の一端を担いました。以下に、訪問した主な行事を報告します。

・春川アニトイフェスティバル

韓国で唯一のアニメーション専門博物館である「春川アニメーション博物館」で開催された祭りです。会場には体験ブースやフードトラック、おもちゃ販売ゾーンなどが並び、家族連れや観光客で賑わっていました。韓国のアニメーション文化を身近に感じられる、楽しい雰囲気のイベントでした。



・春川マックスタッカルビフェスティバル

春川の名物料理を一堂に集めた祭りで、平日にもかかわらず多くの来場者で賑わっていました。炭火焼きやチーズトッピングなど、さまざまな種類のタッカルビが並び、地域の食文化を学ぶよい機会となりました。また、地元野菜の販売や人気カフェ・ベーカリーの出店もあり、春川の味覚を幅広く楽しめるイベント

でした。



・横城韓牛フェスティバル

江原道を代表する特産品「横城韓牛」の魅力を広く伝えるために開催される祭りで、今年で第21回を迎えました。会場では、購入した韓牛をその場で炭火焼きにして味わうことができ、多くの来場者で活気にあふれていました。私自身、初めて韓牛を食べましたが、その柔らかさと旨味に感動しました。そのほか、地元産野菜や特産品の販売、伝統遊び体験、ステージイベントなども行われ、地域全体の魅力が凝縮された内容でした。会場近くを流れる川や紅葉した山々と秋晴れの風景が相まって、印象的な一日となりました。



・原州マンドゥフェスティバル

原州市の旧市街地活性化を目的として2023年に始まり、今年で第3回を迎えた祭りです。平日昼間にもかかわらず多くの人で賑わっており、歴史は浅いにも関わらず、地域に定着しつつある様子がうかがえました。会場には揚げ・蒸し・焼きなど多彩なマンドゥ（餃子）が並び、キムチ入りや野菜・鶏肉入りなど、バリエーションの豊かさに驚かされました。会場スタッフがその場で包み、焼き上げる姿からは、料理への情熱が感じられました。また、来場者参加型の「餃子包み対決」にも飛び入りで参加し、貴重な体験となりました。



・江陵コーヒーフェスティバル

江陵コーヒーフェスティバル2009年に始まり、今年で第17回を迎えました。会場は海沿いにカフェが立ち並ぶ「コーヒー通り」で、江陵の代表的な観光名所の一つです。青い海と秋晴れの空を眺めながら味わうコーヒーは格別で、江陵が「コーヒーの街」と呼ばれる理由を実感しました。



江原道各地の祭りを通じて、地域の文化や人々の温かさに直接触れることができ、江原道の多様な魅力を体感する貴重な機会となりました。

この時期には全州のビビンバ祭りや金泉のキンパ祭りなど、江原道だけでなく韓国各地でも地域の食文化をテーマとしたイベントが開催されており、「食」を通じて地域を活性化させる韓国の文化的特徴の一端を感じました。こうした取り組みは、地域の魅力発信や地方創生の観点からも非常に興味深く、地域づくりや地域の活性化について多くの示唆を得ることができました。

さらに、春川市でのパークゴルフ体験や、紅葉の名所として知られる洪川の銀杏の森などにも案内していただきました。江原道の主要な観光地は一通り訪れたつもりでいましたが、実際にはまだ知られていない魅力的な場所が数多く存在することを実感しました。現地足運び、体験を通して理解を深めることの大切さを改めて感じました。

○休日の活動

春川マラソンの10 kmの部に出場しました。毎年人気で応募が難しいと聞いていましたが、その噂のとおりでした。一般応募ではすでに定員に達しており締め切られていましたが、体育課のご配慮により参加することができました。10 kmコースは、孔之川（コンジチョン）をスタートし、FC江原のホームスタジアムである春川市総合運動場付近で折り返すルートで、緩やかなアップダウンもあり、走り応えのあるコースでした。マラソン大会への出場は今回が初めてでしたが、制限時間の90分以内に無事完走することができ、貴重な経験となりました。

